

令和6年度 学校関係者評価シート(年度末評価)

令和7年3月6日
広島城北中・高等学校

評価項目	評価	理由・意見
目標, 指標, 計画等の設定の適切さ	B B B	・目標の設定が高いのではないか。 ・城北スピリット、高い志等の具体的な行動をしめしてもらいたい。 ・目標をより具体的にしてもらいたい。
目標の達成状況の評価の適切さ	A B B	・概ね適切に評価されている。 ・数値以外の満足度や評価分析についてはより具体的に聞きたい。
目標達成に向けた取組の適切さ	A B B	・目標の設定が高いのではないか。 ・目標達成に向けて、学力状況や授業の工夫など、具体的な姿が見える とよりよい。
評価結果の分析の適切さ	B B B	・実績値やデータのないままの評価になっている部分がある。 ・分析は概ね適切であるが、進学実績のさらなる向上にむけて現状分析、 対策等を引き続き行ってほしい。
今後の改善方策の適切さ	A B B	・全体的に問題はないが、授業改善はアンケートをとるだけにとどまらず、 その後の具体も示してもらいたい。
総合評価	A B B	・全体的に適切な評価がされている。

A:とても適切である／B:概ね適切である／C:あまり適切でない／D:まったく適切でない／N:判定できない

学校関係者評価委員会（質問、意見等まとめ）

●校外における自発的社会貢献活動とは具体的にどのようなことか。社会貢献活動を行った生徒は一部にとどまっているということであるが、どのような活動のことを言っているのか。具体的になれば、今後の中で例えば病院へ行って車いすの清掃をしたり、その他ボランティア活動に参加するのによいのではないか。

●登下校時の「安全」に対して何か具体的な取り組みはされているか。自転車通学において、けがをする側にもさせる側にもなってほしくないので引き続き指導をお願いしたい。

●奉仕活動はし続けていくことで、地域にも貢献できる。活動を重ねていくことで地域とのつながりもできる。城北生はあいさつはよくしているので地域の人たちからも愛されている部分もある。大きな活動ではなくてもそういったちょっとした行動を積み重ねることが大事ではないか。

●高い志を持った生徒とはどういう生徒か。城北スピリットという言葉の具体性があまり見えてこない。子どもたちがどのような姿になることを望んでいるのか。城北スピリットとは具体的にどういう行動ができる生徒なのか。それを実現できる生徒が志の高い生徒になる、ということになるのではないか。例えば授業中、登下校中、校内外、それぞれの場面で具体的にどういう行動がとれる生徒になってほしい、というのを言葉で説明し、それを子どもたちに日頃からもっと伝えていくとよいのではないか。

●授業評価アンケートを提出して、その提出率を評価するのではなく、そのアンケートの結果を踏まえて次に何をするかを評価の対象にするのによいのではないか。

●医進コースの生徒保護者の満足度とはどういった数字なのか。現在在籍している生徒なのか、それとも説明会に来られた方の満足度なのか。現在在籍している生徒保護者の満足度はどのくらいなのか。

●韓国との交流プログラムが中止になった経緯は？